

【暮らす】施策の柱23							
①予算事業名	女性消防クラブ運営事業	予算科目	9-1-2-5	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	安心・快適な生活環境づくり		
②担当部課名	消防本部	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	災害に強い島づくり		
③事業内容	「自分たちの地域は自分たちで守る」という目標を掲げ、独居老人宅防火診断、住宅用火災警報器の設置推進等を実施し、家庭・地域における防火防災思想の高揚を図る。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
⑤事業費 【単位：円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a)国庫					
		(b)県費					
		(c)地方債等		102,000	102,000	102,000	
		(d)一般財源	204,000	220,000	95,000	95,000	95,000
	計(a~d)	204,000	220,000	197,000	197,000	197,000	
	特定財源名	(a) または (b) の名称		(c) の名称	消防費雑入		
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	①独居老人防火診断の実施（毎月） ②住宅用火災警報器の設置推進（毎月） ③各種研修への参加（年4回）					
	平成31年度	①独居老人防火診断の実施（毎月） ②住宅用火災警報器の設置推進（毎月） ③各種研修への参加（年4回）					
	平成32年度	①独居老人防火診断の実施（毎月） ②住宅用火災警報器の設置推進（毎月） ③各種研修への参加（年4回）					
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
	女性消防クラブによる取り組み活動	目標	()	(28)	(28)	(28)	(28)
		実績	28				
		目標	()	()	()	()	()
実績							
事業成果効果等	独居老人宅の防火診断を実施し、住宅用火災警報器の設置推進を図ることで、火災等による災害発生を減少させる。 女性消防クラブ員については、各種研修の受講を推進することより、クラブ員の防災に関する知識ならびに技能の習得を図り、地域において災害時のリーダーシップ養成を図る。						
⑧写真及び図面							